

黒姫・妙高山麓大学駅伝大会

取組に至る背景・事業の目的

信濃町と新潟県妙高市は、グリーンシーズンには、箱根駅伝の出場を目指す大学駅伝部や実業団チームの合宿地として長年愛され、利用され続けており、また国際リゾート観光地として歴史的・経済的に交流が盛んで、県を越えて連携している地域である。この地で駅伝大会を行うことにより誘客宣伝だけでなく、恵まれた自然環境を生かした合宿誘致の促進、スポーツ振興及び産業振興を図ることができ、地域活性化にもつなげることができる。

事業内

信濃町と新潟県妙高市は、広域連携の強化及び更なる合宿誘致を推進するため、地域の関係者と連携し第1回黒姫・妙高山麓大学駅伝大会を開催した。

駒澤大学等の首都圏の大学を始め全国から23チームが出場し、無事大会を開催することができた。多くの駅伝ファン及び地域住民が沿道で声援を送るなど大きな盛り上がりを見せた。

また、大会後に行われた陸上教室では、参加選手らが地域の子どもたちと交流しながら陸上指導を行った。



【黒姫・妙高山麓駅伝大会】
【スタートの様子】

事業効

大会を開催したことにより、想定の倍以上に当たる23チームが参加するなど、合宿地としての魅力を全国に発信することができた。

両市町の関係者と連携が取れたことにより、合宿誘致の活動が面的な活動として広がりを見せるきっかけづくりとなった。

全国紙及び県内報道機関に取り上げられたことにより、合宿地としてのPRにつながった。

また、駅伝大会終了後に陸上教室を開催したことにより、一流選手との交流を通して子どもたちへのスポーツ振興を図ることができた。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

初の駅伝大会の開催によって大学による合宿地としての知名度やスポーツ合宿に対する地元の期待値が高まった。今後は、コースの見直しを図り大会の継続を進め、大会事業を軸にスポーツ合宿誘致の推進及び地域スポーツの振興を見据えた活動を実施していく。また、自主財源の確保を図りながら、持続的な大会運営ができるよう地域関係者と連携を密にしていく。

【選定のポイント】

大学駅伝大会を開催することで広域での地域間連携が図られ、夏合宿誘致やスポーツ振興、地域活性化につながった。多くの大学関係者や観戦者が来町し、合宿地としての魅力を全国に発信した。

団体名	黒姫・妙高山麓大学駅伝大会実行委員会（信濃町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	026-255-2188	事業費	6,022,463円
		支援金額	2,000,000円